

12月8日 誠真会館 合同審査会 合否結果

審査内容

氏 名	基本手技	基本蹴り技	移動手技	移動足技	型	組手	補強	合・否	コメント
幼・少年部									
五十嵐 二葉	9	8	9	8	8	/	○	黄帯合格	正拳アゴ打ちに腕が開き過ぎる。 蹴りの時に下を向きがちになる。 移動稽古・型、順番をしっかりと出来ていました。 的確さを意識して行えると◎ 全体的によく出来ています。
福島 慎士	9	8	9	9	9	/	○	黄帯合格	力強さと一生懸命さが感じられました。 蹴り技の高さがもう少しあると点数が取れました。 前屈立ちはしっかりと腰を落とし稽古したことが出来ていました。
福島 さくら	10	10	10	10	10	/	◎	オレンジ帯合格	白帯の昇級レベルを超えていますので、 飛び級です。 キレ・スピード・精度等、意識をして全体を 捉えられています。
■ 赤帯以上から、審査基準が厳しくなります。									
本間 しほ	8	8	8	9	8	8	○	水色帯合格	全体的に正確に行えております。 力強さと覇気を感じられないので、それがあれば全体的に点数が上がりました。 組手では、受けることはしっかりと対応出来ていましたが防戦一方になる場面が多いので、も らったらずぐに返す意識できるとよいです。
小俣 春翔	9	9	9	8	9		◎	保留審査	力強さを感じられる審査内容でした。 立ち方・移動の仕方下半身に意識をして行 えておりました。 足技に関しては、高さは出ていましたが引き足 のコントロールがもう少しほしいです。足の着 地点を意識して出来たら点数が上がりました。
一般部									

※補強審査は、一般は黄帯以上から、幼・少年部は、オレンジ帯以上から審査結果に影響致します。
※6点以下は、一つでもあれば不合格もしくは、保留になります。